

平成25年の梅雨入り・明けと梅雨時期の特徴について

平成25年の梅雨入りは、沖縄地方と関東甲信地方、北陸地方、東北南部で遅かったほかは平年並か早く、九州北部地方から東海地方にかけてはかなり早かった。梅雨明けは、東北地方と北陸地方でかなり遅かったほかは、奄美地方の平年並を除いて早く、沖縄地方と中国地方から関東甲信地方にかけてはかなり早かった。梅雨の時期の降水量は、東北南部でかなり多く、北陸地方で多かったほかは、平年並か少なく、東海地方ではかなり少なかった。また、東北地方では、7月から8月上旬にかけてたびたび大雨となり、7月の地域平均降水量平年比は統計を開始した1946年以降で最も多くなった。

地方名	梅雨入り(注1)	平年	梅雨明け(注1)	平年	梅雨時期の降水量平年比と階級(注2)
沖縄	5月10日ごろ(+)	5月9日ごろ	6月11日ごろ(-)*	6月23日ごろ	93%(0)
奄美	5月10日ごろ(0)	5月11日ごろ	6月29日ごろ(0)	6月29日ごろ	106%(0)
九州南部	5月27日ごろ(-)	5月31日ごろ	7月8日ごろ(-)	7月14日ごろ	77%(-)
九州北部	5月27日ごろ(-)*	6月5日ごろ	7月8日ごろ(-)	7月19日ごろ	72%(-)
四国	5月27日ごろ(-)*	6月5日ごろ	7月8日ごろ(-)	7月18日ごろ	89%(0)
中国	5月27日ごろ(-)*	6月7日ごろ	7月8日ごろ(-)*	7月21日ごろ	101%(0)
近畿	5月27日ごろ(-)*	6月7日ごろ	7月8日ごろ(-)*	7月21日ごろ	81%(-)
東海	5月28日ごろ(-)*	6月8日ごろ	7月7日ごろ(-)*	7月21日ごろ	68%(-)*
関東甲信	6月10日ごろ(+)	6月8日ごろ	7月6日ごろ(-)*	7月21日ごろ	77%(-)
北陸	6月18日ごろ(+)	6月12日ごろ	8月7日ごろ(+)*	7月24日ごろ	133%(+)
東北南部	6月15日ごろ(+)	6月12日ごろ	8月7日ごろ(+)*	7月25日ごろ	139%(+)*
東北北部	6月15日ごろ(0)	6月14日ごろ	8月10日ごろ(+)*	7月28日ごろ	110%(0)

(注1) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「〇〇日ごろ」と表現した。記号の意味は、(+)\*: かなり遅い、(+): 遅い、(0): 平年並、(-): 早い、(-)\*: かなり早い、の階級区分を表す。

(注2) 全国153の气象台・測候所等での観測値を用い、梅雨の時期(6~7月。沖縄と奄美は5~6月)の地域平均降水量を平年比で示した。記号の意味は、(+)\*: かなり多い、(+): 多い、(0): 平年並、(-): 少ない、(-)\*: かなり少ない、の階級区分を表す。

※階級区分は、1981~2010年における30年間の観測値をもとに、以下のように振り分けている。

	33%	33%	33%
	10%		10%
梅雨入り・明け	遅い かなり遅い	平年並	早い かなり早い
降水量	少ない かなり少ない	平年並	多い かなり多い

※気象庁では、毎年、春から夏にかけての実際の天候経過を総合的に検討し、各地の梅雨入りと梅雨明けの確定及び梅雨時期の特徴のまとめを行っている。

本件に関する問い合わせ先

: 地球環境・海洋部気候情報課 (内線3154)、予報部予報課 (内線3127)